



No.53

2018年(平成30年)9月1日発行

# Red Cross R-net Renkei アールネット

「R-net」の「R」は、レドクロス (Red Cross) と連携 (Renkei) の「R」です。地域とのネットワークを更に深め、皆様が笑顔になれるよう期待を込めてお届けします。

【ホームページ】 <http://www.sendai.jrc.or.jp>

## 診療科・部署紹介

## リハビリテーション技術課

理学療法士

くさかり  
草刈

みなこ  
美奈子



当院リハビリテーション課は理学療法士10名・作業療法士2名・言語聴覚士1名で構成されており理学療法室と作業療法室は南棟2階、言語聴覚室は本館5階にあります。対象患者さんは0歳の新生児から100歳を超えた高齢者までで、当院のほとんどの診療科からリハビリの処方が出ています。整形外科や外科の患者さんは手術前から、内科の患者さんは病室に伺ってリハビリを開始し、自宅への退院や施設への転所時に患者さんや御家族が困難な事や不安な事が

ないように病棟看護師やMSWと協力してリハビリを実施しています。2017年3月より開始しました地域包括ケア病棟ではリハビリを重点的に実施する病棟として患者さんへ密度の濃いリハビリを提供しています。また、褥瘡対策チーム・糖尿病教室・転倒予防教室・排尿自立支援・認知症ケア・周術期外来等に参加し多職種連携の一翼をになっています。今後もより短い入院日数でも不安なく退院が



迎えられるようなリハビリを目指してスタッフ一同努力してまいります。



## 診療科の紹介

### 呼吸器内科

現在、呼吸器内科は四名の常勤医（三木、清水川、阿部、徐）で外来、入院、他科からの相談や健診（含、肺癌ドック）などを行っております。本院は、呼吸器学会・呼吸器内視鏡学会・アレルギー学会・がん治療認定医機構の認定施設です。

呼吸器疾患の症状としては咳、痰、息切れ、喘鳴、呼吸困難、胸痛などがあり、呼吸器内科の対象疾患は、気管支炎、肺炎、非結核性抗酸菌症などの感染性疾患、COPD、気管支拡張症といった慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、過敏性肺炎といったアレルギー性肺疾患、間質性肺炎、サルコイドーシスなどのびまん性肺疾患、胸膜炎、自然気胸などの胸膜疾患、肺癌、中皮腫などの悪性疾患と多岐にわたっております。

#### ● 胸部X線写真で異常な影を認めたら

すぐに御紹介下さい。受診当日に胸部CTまで撮影して仮診断し、さらに肺癌を疑う場合にはCT画像から仮想内視鏡画像を作成して、後日気管支鏡検査を行います。なお、蛍光気管支内視鏡による狭帯域光観察(NBI)や細径気管支鏡、ガイドシースを用いた気管支腔内超音波断層法(EBUS-GS)を用いて、診断の向上を図っております。

#### ● 気管支喘息の最新の診断と治療

喘息の新しい検査方法として、呼気中の一酸化窒素(NO)の濃度を測定して、気道炎症の程度をみることができます。また、重症喘息に対

### 呼吸器内科部長 みき まこと 三木 誠

しては、生物学的製剤や気管支サーモプラスティによる最新の治療を行います。

#### ● 長引く咳の治療に困ったら

1週間以上咳嗽が続き、なかなか治らない場合にはご相談ください。

#### ● 睡眠時無呼吸症候群

精密検査ポリソムノグラフィを行なっております。管理に関しましては方法を詳しくお伝えして逆紹介することが可能ですので御相談ください。

#### ● 禁煙外来も行っています

#### ● 在宅酸素療法

適応を検討して導入し、生活の質の向上をはかっております。なお、高炭酸ガス血症を呈する患者さんには、マスク式の人工呼吸器を用いた在宅人工呼吸療法も行っております。



前列左から徐医師、清水川医師、三木医師、阿部医師

### 新採用医師の紹介



7月より着任いたしました舟橋優太郎と申します。大崎市民病院で研修後、東北大学病院、宮城県立こども病院で勤務して参りました。小児の在宅人工呼吸に興味があります。地域に貢献すべく日々精進して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

ふなばし ゆうたろう  
麻酔科 医師 舟橋 優太郎



# イチオン! 八木山の快人

ファンマザイク やまがた 山形 ゆうこ 裕子

Aloha! 気持ちはいつまでもフラガールのファンマザイクです。

仲間と笑い、支え合い、大きな舞台を成功させた時の爽快感は宝物です。

仕事では20年NICUで働かせてもらいました。昨年、心機一転、成人病棟へ異動しましたが、昔も今も親切で気さくなスタッフに支えられ、仲間の存在の大きさに感謝の毎日です。

患者様の人生の1ページが少しでも充実したものになるよう、一期一会をこれからも大切にしていきたいと思います。

出身地：仙台市  
経験年数：21年



▲右端：ファンマザイクさん

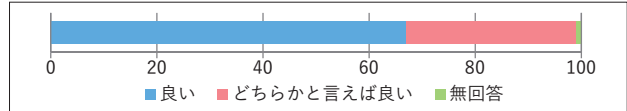


## 第25回 地域医療連携の集い

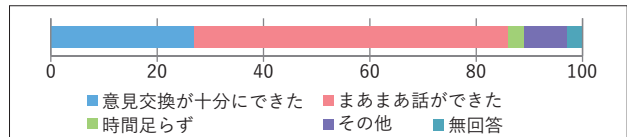
### アンケート結果

平成30年6月15日(金)に江陽グランドホテルにて開催しました。当日は、講演会と意見交換会をさせていただきました。いただいたご意見を大切に、今後のよりよい連携に活かしていきたいと思っております。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

#### ◆講演会について



#### ◆意見交換会について



#### ◆講演会へのご意見

- ・具体的な症例の発表をお聴きし、とても分かりやすかったです。特に排泄ケア面でのWOCナースの連携は大変参考になりました。

#### ◆意見交換会への意見

- ・このような機会を作っていただくことで、日赤の先生だけでなく開業医や医師仲間と話が出来ます。有難いことです。
- ・話したい相手を探すのに時間がかかった。

#### ◆集い全体への意見

- ・地域包括ケア病棟に関する運用について情報提供頂けると幸いです。
- ・日赤さんが地域に向け、発信していく姿勢を感じました。単に入院している間又は外来の患者さんだけの対応だけでなく、在宅での生活にも目を向けていることを常に感じております。

#### ◆赤十字病院との連携について

- ・とくにありません。今後はさらに症例の引き受けをお願いしたいです。
- ・連携室の方々が外来看護師や主治医との連携の間に入って下さるので報告や相談も密にスムーズに行っています。いつもありがとうございます。

#### ◆当院への要望

- ・患者さんは日赤は八木山で遠いという思い込みがあるみたいで行きたがらない。昔と違って地下鉄もいっている、シャトルバスもでているということを宣伝してほしい。

## 連載コラム ~Dr オカダ日記~



### 造影剤腎症を避ける方法

放射線科部長 おかだ ひでと 岡田 秀人

CT検査は多列化や被曝低減化に伴い依頼数が大分増え、ブルストなどの一般撮影より数が多い様な状況も生まれつつあります。一定の割合で造影CT検査も行われておりますが、その一方で腎機能の低下した高齢患者さんも増えております。ヨード造影剤投与で腎機能が低下する事を造影剤腎症といい、そのリスクは腎機能が悪いほど増加するとされております。画像診断ガイドラインでは腎機能の評価にはeGFR (ml/min/1.73m<sup>2</sup>) を用い、ハイリスクの場合は補液をしながら造影する事が推奨されております。当院では基本的にeGFR30未満は造影禁止、30以上60未満は補液をしながら造影する、60以上は特段の処置をせずそのまま造影しております。80才以上の女性の場合実に7割くらいがeGFR60未満に相当するなど、造影前後に生食やラクテックを点滴する患者さんは実際かなりいらっしゃいます。2017年Lancetに補液は無効とする報告がなされ、補液の適応は今後変わる可能性もありますが、現状では点滴が必要かどうか、高齢者ほど重点的にeGFRのチェックをしております。

### 編集後記

西日本豪雨により甚大な被害を受けた被災地。日赤救護班では「こころのケアチーム」を発足。当院の看護師や事務職員も現地の避難所などで、被災者や被災者支援をしている方々のこころのケアにあたりました。これからも全力で活動に取り組んでまいります。

(医療社会事業課 社会福祉士 こんどう ともみ 近藤 智美)

# 外来診療担当一覧表 (9月分)

診 療 科 目	月	火	水	木	金
総合内科	午前			山下 和良	
	午後	山下 和良			
腎臓内科	午前		杉本 理絵	山口 裕二	牧野 豊
	午後	牧野 豊	山口 裕二	杉本 理絵	山口 裕二
血液内科	午前			福原 修	
	午後		福原 修		
呼吸器内科	午前	阿部 恭子	清水川 稔	阿部 恭子	三木 誠
	午後			清水川 稔	大学応援医師
消化器内科	午前	大桑尚弘(新患) 片岡晃二郎(再来)	大桑尚弘(新患・再来)	大森信弥(新患・再来)	片岡晃二郎(新患・再来)
	午後		菅野 厚(再来)	菅野 厚(再来)	菅野 厚(再来)
循環器内科	午前	杉村 彰彦	菊地 翼	杉村 彰彦	大橋 潤子
	午後				鈴木 康太
糖尿病代謝科	午前	宮口 修一	大学応援医師(再来)	宮口 修一	宮口 修一
	午後				
神経内科 <small>(大学応援医師新患と水曜日再来は完全予約制)</small>	午前	大学応援医師		佐久間 博明(再来)	大学応援医師
	午後	大学応援医師(新患)			大学応援医師(新患)
禁煙外来	午後		三木 誠		
外科 <small>(再来は完全予約制)</small>	午前	小林 照忠 大越 崇彦 小林 照忠 大越 崇彦	舟山 裕士 廣澤 貴志 深町 伸 舟山 裕士	大村 範幸 舟山 裕士 大村 範幸 舟山 裕士	大越 崇彦 小林 照忠 金子 直征
	午後	大越 崇彦 乳腺外来	乳腺失禁外来	乳腺失禁外来	大越 崇彦 乳腺外来
産婦人科 <small>(再来の妊婦検診は、予約制) *午後の診療は13時30分からとなります。 *緊急手術・学会・当直の都合により担当医師が変更になることがあります。</small>	午前	谷川原 真吾 太田 恭子 佐藤 多代	鈴木 久也 佐藤 多代 齋藤 美帆	谷川原 真吾 千坂 泰 氷室 裕美	谷川原 真吾 太田 恭子 千坂 泰
	午後	千坂 泰 氷室 裕美 成田/秋原	専門外来	鈴木 久也 佐藤 多代 成田/秋原	産後1ヵ月健診
N I C U	午後		高橋 立子	佐藤 智樹 三浦 雄一郎	三条 雅敏
小児科 <small>(午後は予約制)</small>	午前	永野 千代子 小澤 恭子 千葉 明子	田澤 星一 浅田 洋司 宮川 千弘	田中 佳子 宮川 千弘 高橋 安佳里	浅田 洋司 永野 千代子 田澤 星一
	午後	浅田 洋司 <small>(慢性外来)</small> 田中 佳子 <small>(神経外来)</small> 千葉 明子 <small>(乳児健診)</small> 小児科担当医師 <small>(乳児健診)</small>	小児科担当医師 <small>(予防接種)</small> 永野 千代子 <small>(慢性外来)</small>	速水/田澤 <small>(心臓外来)</small>	永野 千代子 <small>(慢性外来)</small> 浅田 洋司 <small>(慢性外来)</small> NICU医師 <small>(1ヵ月健診)</small> 小児科担当医師 <small>(1ヵ月健診)</small>
小児外科	午後	伊勢 一哉 <small>(ヘルニア)</small>	岡村 敦 <small>(便秘肛門)</small>	伊勢 一哉 <small>(新生児)</small>	伊勢 一哉 <small>(在宅)</small>
形成外科(予約制)	午後				後藤 孝浩(隔週)
整形外科 <small>(完全予約制) *地域医療連携室を通しての予約は、担当曜日が変わることがあります。</small>	午前	坂本 敬 <small>(足)</small>	大沼 正宏 <small>(膝)</small> 田中 秀達 <small>(股関節)</small>	大沼 正宏 <small>(膝)</small>	北 純 <small>(足)</small> 後藤 昌子 <small>(股・足・小児)</small> 大山 正瑞 <small>(股関節)</small> 山田 則一 <small>(股関節)</small>
	午後	北 純 <small>(股関節・足)</small> 坂本 敬 <small>(足)</small> 岸本光司(第4週) <small>(骨代謝外来)</small>	大沼 正宏 <small>(膝)</small> 坂本 敬 <small>(足)</small>	大山 正瑞 <small>(股関節)</small>	北 純 <small>(小児外来)</small> 大山 正瑞 <small>(小児外来)</small> 山田 則一 <small>(股関節・小児)</small> 田中 秀達 <small>(股関節・小児)</small> 栗島 宏明 <small>(股関節・小児)</small> 後藤 孝浩(隔週) <small>(形成外科)</small>
スポーツ整形外科 <small>(完全予約制)</small>	午後	坂本 敬(足)	大沼 正宏(膝)		
皮膚科	午前	田畑 伸子 武田 佳奈	田畑 伸子 武田 佳奈	田畑 伸子 武田 佳奈	田畑 伸子 武田 佳奈
	午後	手術及び検査 乾癬外来		手術 及び 検査	手術及び検査 足外来
泌尿器科	午前	太田 章三 山室 拓	太田 章三 櫻田 祐	手術	太田 章三 當麻 武信
	午後			手術 及び 検査	
眼 科	午前	愛川 弘子	愛川 弘子	愛川 弘子	愛川 弘子
	午後	予約の外来	大学応援医師	大学応援医師	大学応援医師
耳鼻咽喉科(予約制) <small>*手術などの予定により外来担当医は予告なく変更になることがあります。</small>	午前	山崎 宗治 本間 理香子	山崎 宗治 本間 理香子	山崎 宗治 本間 理香子	山崎 宗治 大学応援医師
	午後		手術 及び 検査	検査	手術及び検査
歯科口腔外科(再来は完全予約制) <small>奥山医師: 9月3日(月)・5日(水)・19日(水) 山田医師: 9月10日(月)・12日(水)・26日(水)</small>	午前	長坂 多賀子	長坂 多賀子	長坂 多賀子	長坂 多賀子
	午後	長坂 多賀子	長坂 多賀子	長坂 多賀子	手術

\*新患受付: 午前7時45分~午前11時00分、午後0時30分~午後3時00分      \*健診センター受付: 月曜日~金曜日 午前8時30分~午前11時00分  
 \*再来受付機: 午前7時00分~午前11時00分、午前11時30分~午後3時00分      \*手術等により担当医師が変更になる場合があります。  
 \*整形外科・小児科の予約時間が午後0時30分以降の方は、受付時間が午後0時30分からとなります。

R-net 第53号 ■発行日/ 2018年(平成30年)9月1日 発行者/ 〒982-8501 仙台赤十字病院・仙台市太白区八木山本町二丁目43番3

●電話番号代表 022(243)1111 ●地域医療連携室直通(電話番号) 022(243)1105 (FAX 番号) 022(243)4718

【ホームページ】 <http://www.sendai.jrc.or.jp>

印刷/株式会社 豊栄堂印刷所